

関係各位

新型コロナウイルス感染発症並びに経過対応についてのご報告

標記について、当法人非常勤役員が、私事により感染者の濃厚接触者であると認定され、PCR検査を受けた結果、4月23日夜に新型コロナウイルスに感染しているという連絡がありました。

その結果を受け、奥州保健所から「その役員と会議等で同席する時間が比較的長かった職員2名について高齢者施設でもあり、念のため接触者としてPCR検査を実施しておきましょう」という指示があり、4月24日に受検した結果、2名とも非検出の陰性という結果でした。

尚、受検した2名は、直接介護に携わる職員ではありません。

入居者様につきましては、1日2回の検温等の体調管理を徹底し、変わりなく過ごされております。

職員につきましては、引き続き、出勤前及び出勤時の検温や手洗い、うがい、マスク着用、消毒等、感染予防対応に取り組んでおります。

また、岩手県より、4月1日以降、奥州市の特定地域において散発的に感染経路不明の感染者が発生し、感染拡大の恐れがあることから、高齢者施設に勤務する職員を対象とした行政検査の指示があり、4月26日に全職員対象にPCR検査を実施しております。

今回上記の対応等により、みなさまへのご報告が遅くなりましたことについて、深くお詫び申し上げます。

今後も入居者様並びに、職員の感染予防を最優先に、迅速な対応に努めますので、ご理解の上、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和3年4月26日

社会福祉法人協同光陽会

施設長 懸田和彦